

WG 活動報告

16. 遺伝性疾患（免疫不全・代謝異常・造血不全など）

① WG メンバーリスト

氏名	所属	診療科
責任者 矢部 普正	東海大学医学部附属病院	小児科・細胞移植科
矢部 みはる	東海大学医学部附属病院	小児科・細胞移植科
後藤 裕明	横浜市立大学附属病院	小児科
森尾 友宏	東京医科歯科大学医学部附属病院	小児科
鈴木 信寛	札幌医科大学附属病院	小児科
中沢 洋三	信州大学医学部附属病院	小児科
足立 壮一	京都大学医学研究科	人間健康科学系専攻
加藤 俊一	東海大学医学部附属病院	小児科・細胞移植科
村松 秀城	名古屋大学医学部附属病院	小児科
堀越 泰雄	静岡県立病院機構 静岡県立こども病院	血液腫瘍科
加藤 剛二	名古屋第一赤十字病院	小児医療センター血液腫瘍科
吉田 奈央	名古屋第一赤十字病院	小児医療センター血液腫瘍科
高倉 広充	東海大学医学部	小児科

② 2011 年末時点で承認された研究、及び業績一覧

「Diamond-Blackfan 貧血に対する同種造血細胞移植の成績」 PI: 矢部 普正
学会発表・論文業績: 矢部普正他 第 34 回日本造血細胞移植学会総会(平成 24 年 2 月 24 日-2 月 25 日) 大阪国際会議場 「Diamond-Blackfan 貧血に対する同種造血細胞移植」(予定)
「Fanconi 貧血に対する同種造血細胞移植の成績」 PI: 矢部 みはる
学会発表・論文業績: 矢部みはる他 第 34 回日本造血細胞移植学会総会(平成 24 年 2 月 24 日-2 月 25 日) 大阪国際会議場 「Fanconi 貧血に対する同種造血細胞移植の成績」(予定)

③ 会議開催記録(2011 年 1 月-12 月)

日時	場所	会議内容
2011/1/30 12:00-13:00	東京医科歯科大学	遺伝性疾患を造血障害、免疫不全、代謝異常に分けて、それぞれ従来から研究実績のあるテーマを挙げ、継続性や関連する研究班、学会との調整を考慮して、テーマを振り分けた。しばらくはそれぞれのテーマに沿って独立した活動を行い、関連する研究班や学会との調整を進めて具体的な研究テーマを絞っていくこととなった。

④ WGの今後の活動方針・抱負など

遺伝性疾患 WG は多様な疾患が対象となっているため、それぞれの疾患における移植成績を解析してドナー別成績や前処置別の成績を比較し、至適移植法の確立に繋げることを目的としている。このため、分担したテーマに沿って各自が責任を持って研究計画を立案し、必要であれば二次調査の計画を立て、施設 IRB への申請、解析と発表、論文執筆を行うこととなる。この際、特に代謝や免疫不全においては、従来から継続して診断や治療法の研究を行ってきた研究班や学会の関連委員会との連携を密に行い、データのプライオリティに充分配慮して進めることが求められる。

各委員のテーマと進捗状況は以下の通りである(敬称略)。

加藤剛二「副腎白質ジストロフィーに対する造血細胞移植」;施設 IRB に申請中。

村松秀城「ウイスコットアルドリッチ症候群」;研究立案中

森尾友宏「原発性免疫不全症に対する臍帯血移植成績 update」;研究立案中

加藤俊一「先天性代謝異常における造血細胞移植の全国調査」;研究立案中。「ムコ多糖症 I 型に対する造血細胞移植」について解析中

後藤裕明「慢性肉芽腫症に対する造血細胞移植の治療成績」;研究立案中

中沢洋三「重症先天性好中球減少症に対する造血細胞移植」;解析中

足立壮一「ALD の京大移植例」;神経グループにより論文執筆中

吉田奈央「先天性免疫不全症・造血不全症の移植成績」;研究立案中

鈴木信寛「FHL に対する RIC-CBT」;共同研究者が論文執筆中

高倉広充「ムコ多糖症に対する造血細胞移植」;研究立案中

矢部みはる「Fanconi 貧血に対する同種造血細胞移植の成績」;演題申し込み、施設 IRB 申請中。

矢部普正「Diamond-Blackfan 貧血に対する同種造血細胞移植」;演題申し込み、施設 IRB 申請中。